



リーダーとして目標を いかに実現するか

皆さん、こんにちは！新緑の気持ちいい季節を迎えました。街中にも新入社員らしきスーツ姿の初々しい人たちも目に付きます。私たちもいつも新鮮な気持ちで毎日過ごせたらと思います。

さて、今回は目標達成についての話をしました。今回は、チームとしての目標達成について、昨年話を聞くことがあったので、報告したいと思います。「リーダーとして目標をいかに実現するか」というテーマです。

- ① 明確な目標を立て、達成を信じる。
 - ② 達成のための具体的な方法を検討し続ける。
 - ③ 方法を部下に明確に示し、自信を持たせる。
 - ④ 意見を聞き、取り入れて参画意識を持たせる。
 - ⑤ 日々採算を作り、真剣に検討する。
 - ⑥ 自分のことを犠牲にしても常に意識を会社においておかなければならない。
- ということでした。この話をされたのは、京セラの稲盛名誉会長なので、どうしても会社としての切り口となっています。一つひとつの項目を詳しくみていきましょう。

① 明確な目標を立て、達成を信じる…まず、どのような目標を立てるべきなのかというところから考えなければなりません。現状のチームの力からして、目標が高すぎると、あまりにも大きすぎるギャップは人のやる気を殺いでしまいます。また、目標が低すぎても達成感が生まれないのでいい目標とはいえません。それでは、どんな目標がいいのかといえば、結局はリーダーの強い意志が求めるものであるべきで、その人の願望が表されたものでなければなりません。さらにその目標そのものが、周りの人々の利益になるような大義名分があ

れば、メンバー全員が心を合わせてその目標に向かうことができます。また、一人ひとりがその目標達成を信じて疑わないことも大切な条件です。イギリス作家のジエームズ・アレンは「人間を目標に向かわせるパワーは信念です。疑いや恐れは実現にとって最大の敵」といいました。リーダー（経営者）のメンタリティはそのまま社員・社風へと反映します。チーム全員がその目標達成について強く信じていることが、そのチームの最大の力を発揮するために必要なのです。

② 達成のための具体的な方法を検討し続ける…目標の設定と、達成に向けた実行計画は、誰から見ても、合理性のある論理的なものがなければなりません。精神論は大切ですが、根性論では計画とはいえません。綿密なシミュレーションを繰り返し、カラー映像として全員がイメージできるようにするまで、煮詰めていく必要があります。

③ 方法を部下に明確に示し、自信を持たせる…目標と計画の共有は必須です。全員がその計画にそった目標の実現を信じていること、そして一人ひとりが自信と使命感を持った状態でそれぞれの役割を担っていることが大切です。リーダーは、その集団に元気を打ち込み、ベクトルをあわせて向かわせることが仕事です。一人ひとり、具体的なステップを作り、達成させることで、一人ひとりが自信を持ちます。その上で、リーダーはさらに情熱やエネルギーを与えて、レベルを上げていくのです。これを「励起」といいます。昔からいろいろところで話されるたとえ話ですが、ピラミッドを作っている3人の男の話があります。Aさんに「あなたは何をしているのですか？」と聞くと、「見ればわかるだろう。レンガを積んでいるんだ」。Bさんに同じ質問をすると、「ピラミッドを作っているんだ」。Cさんに聞くと、「偉大な王様の歴史に残る墓碑を作っているんだ」と誇らしげに答えました。この三人は同じ仕事をしていますが、そのできばえはおそらく大きな違いがあることでしょう。

(岡本 慶太)



紙上セミナー 心の整体師

がんばればがんばるほど結果を期待してしまうもの。それが人間です。ですから熱心にならば、結果に対する事前期待の感情が、自然に上へ上へと高ぶってしまいます。そんなとき仮に普通の結果が出たとしても、不満の気持ちが芽生えてしまいます。ではどうするか？。今回は、あなたの心を掃除して、更にストレッチします。ずっとがんばっているキャストさんのために、がんばってキーボードを叩きます。

◆結果に対する気持ちが離陸して、高く舞い上がらないためにはどうするか。それは、実る努力をすること。つまり、「努力する事柄の妥当性や正当性を冷静に検証した上で努力することにより、それが成功でも失敗でも良い記憶として残るものだ」と、儒学の中では説かれています。先人の知識と知恵を素直に聞き入れることが出来れば、真っ直ぐ進むことができるというものです。何といても直線が最短距離です！

◆さて、人の目が気になるのは、自分の汚い心を悟られまいとする裏返しで、非常にストレスが掛かるものです。逃亡者がヒトの目を気にする意味は、ここにあります。心のホコリを落とすと、ヒトの目も気にならなくなって、その上ストレスも起きなくなるんです。

◆マイナス思考は誰にでもあります。それを表にアナウンスすると、つまり批判を口にするあなた自身が批判されますよ。否定すればあなた自身が否定されますよ。何万人という方々にご縁いただく中、私はマイナスばかりを吐く人で幸せな人など、未だかつて見たことがありません。心の腐敗臭に、ヒトは敏感なもので、常民良民は徐々に離れてしまいます。その一方で、腐敗臭が大好きな銀バエのような人間が集まって来るものです。

◆もうひとつ。貧乏自慢は、ヒトのココロを確実にマイナス方向へと落とし込みます。お涙ちょうだいの同情を買うような話題は、それを言われた方が果たしてどう思うか、受け手の

感情など全く考えない極めて自己本位で身勝手な考え方でしかありません。自分自身が経験した辛い体験など、完全にフタをして酸欠状態にしてしまうべきです。言っただけにならないことは、ヒトに言うべきではありません。

◆『靴底がさ、はがれちゃったから、接着剤借りて付けたのね。でも昨日、横断歩道を走ったら道の真ん中で、またペラペラとはがれてね。恥かいたけどお金無いらさ、今もそのままよ。』『たいへんね～w(だから何？。私にまたカネ貸してってか？)』『腹減ったな～。つーか、家でいつの間にかガスが止められちゃってね、家族でレトルトカレーを温めないでそのまま食べたよ。参ったよ。』『マジかよw(の割に、お前なんでブクブク太ってんだよ！)』(かっこ)の中は、言われた相手の本音とも言える感情です。こんな会話は誰でも経験したことがあるのではないのでしょうか。でもこのような話題しか無い人間で、その後、運気が好転する方など不思議といません。

◆あなたの心はゴミ屋敷となっていないですか？いらぬものを捨てるのが掃除であり、容量がひとそれぞれ決まっている自分の心もまた、それぞれの記憶の要否を考えながら、どんどんどんどん捨てるべきです。人間の最大の能力は忘却ですが、捨てようとしなくてそのまま溜め込むと、今度は脳内で“強制的に捨てるという現象”＝健忘症が起きるとして、一部の脳科学者の間では現在研究が進んでいると言います。

◆つまり、小さなことに目くじらを立ててその結果いつもイライラしたり、些細なことでも悪い方向へと思い込んでしまったり、少しでも思い通りに行かないことがあっただけで落ち込んだり、いつまでも過去にしがみついてネガティブなことを忘れようとしなかったり、様々な要員で心がマイナスになると、ネガティブな言葉を吐いて周囲を汚染させ、さらにそれがヒトからヒトへ次々と感染するわけです。

◆あなたのココロ、お元気ですか？心の不具合を解消するためには、こころのばい菌となる暗い考え方や記憶を意識的に捨てること。そして、がんばり過ぎず、我慢し過ぎず、正しい努力を継続すること。心の除染は、これに限ります。

次回は、「食う気正常記」。引き続き、心と気持ちにフォーカスを当てます。

(株式会社システムコンストラクション 清野秀道)

東日本地区FCオーナー懇親会

2月16日(火)に焼肉さんあいふじみ野店で東日本地区オーナー会を行ないました。さんあい社長鈴木さまのご好意でいただいたお酒や、自慢の焼肉を食べながら、オーナーさまとゆっくり話し合いを行なうことができました。アルバイト募集方法について効果的な情報をAGRIT(榎細田社長からいただき、また、留学生採用などの意見交換も行ない、有意義な時間を共有することができました。食事中は各オーナーさま、責任者の方から、現状の問題点等の意見をいただきました。商品開発、教育部門、工場など普段なかなかコミュニケーションが取れない本部担当者も、直接加盟店さまからの現場の声を聞くことができました。いただいた貴重なご意見をもとに更に加盟店さまといっしょにお客さまに喜んでいただけるチェーンを構築していきます。最後に、埼玉社長の一本締めで、全員が笑顔で食事を終えることができました。風風ラーメン、桜吹雪が風に舞うの理念である、「明るさ」「笑顔」が店舗従業員全員が実践できるような環境を作っていきます。そのためにはオーナーさまの力が不可欠です。今後ともよろしくお願いいたします。

(FCサポート本部 マネージャー宮原 尚之)



第162回NHKK研修

2月17・18日に第162回NHKK研修を開催しました。会場の問題などで約4年ぶりの関東での開催でしたが、久しぶりの開催で私自身も非常に楽しみにしていました。今回参加のみなさんは、リーダーとしての日が浅く、これから自分たちが周りをどう巻き込んでいくのかという課題をもっておりました。スタートは緊張と不安でエンジンのかかりは緩やかでしたが、徐々に周りともコミュニケーションが取れ、講義や実践を繰り返していくなかで、姿勢、目の色、発言が変わっていきました。今回は、研修後の自分の目指す、ありたい姿を具体的に考える時間を長く取り、それぞれの場所に戻ってからも行動できるように、研修の内容もブラッシュアップしました。研修生の取組む姿勢や、自身の殻を破ろうと、必死になる姿があってこそ、私たちトレーナーも、もっと研修生のためという気持ちが強くなります。「今ここに全力を集中」こういった場面を、NHKK研修で体験させてもらえることは、研修生、トレーナー、その場にいる全員にとって、人生の中の貴重な時間となっています。

(FCサポート本部 寺脇 美保)

～研修レポートより～

- 「私にはできる」を口ぐせにします。自分を信じ、自信をもって行動します。周りの方々に恩返しできる自分になる(20代女性)
- お客さま一人ひとりに自分の出せる力で接客する。何かあればすぐ提案する(後回しにしない)研修に行かせていただいた、社長、店長、キャストの皆さんに感謝(30代男性)
- 仕事をこなすことを止め、お客さまにどうやって想いを伝えるか、自分自身がどうやって仕事を楽しみ、その楽しさをどうやってキャストに伝えるかを第一に考えて行動します(30代男性)
- 常に感謝の心を忘れない。あたりまえになってはいけない。相手を想うなら言う。ただし自意識過剰な意見にならないように(20代女性)



風風ラーメン北朝霞店 ミニNHKK研修&11周年祭



2月19日に風風ラーメン北朝霞店で、ミニNHKK研修を開催いたしました。営業の中でよくあるパターンを寺脇さんが講義に取り入れ、皆さん真剣に聞き入ってくださっていました。立川店長の周年祭にあてた想いなども発表していただき、それを温かい目で皆さんが支えてくれる雰囲気です。今回、司会をさせていただきましたが、私も基本に立ち返り、とても勉強になった研修でした。

(FCサポート本部 久保 美由樹)

周年祭という日ごろの感謝の気持ちをお客さまにお届けするにあたって、お客さまに「感動した」という言葉もいただき、本当にやって良かったと営業しながら感じていました。今日よりも明日、明日よりもあさってと売上が伸びたのはキャスト一人ひとりの気づかい、気配りがあったからだと感じています。これから自分たちの見せ場だと思っております。今回のイベントを自分たちの財産とし、通常営業にこれまでの経験を発揮し、常に100%の気持ちで営業に取り組まします。

(北朝霞店 萩野友希)

風風ラーメン高松仏生山店 10周年祭

2月27～29日の3日間で10周年を記念しての周年祭が開催されました。初日の前半はもたつきがありましたが、慣れてくると全員、自分の持ち場を死守し、会計、提供、オーダー取りなど、「行きます！」と終始声を出してテキパキ動いていました。お客さまも「美味しかった」と言って帰られる方が多かったです。今後も、目標を何かひとつ決め、取り組むことをしていきます。(店長 田村 和歌子)



風風ラーメン松江学園店 13周年祭

初日ピークから沢山のお客さまに並んでいただき、最終的には目標を大きく上回る結果を残すことができました。スタンプカードもたくさん配れたので、これからの入客が期待できそうです。2日目は疲労もありましたが、とても良い雰囲気です。普段の営業でも、あの感覚を思い出しながら、お客さまに元気を与えていけたらと思います。今回は、他店の応援、会社全体でのサポートがとても力強く、大いに助けられました。キャストたちも感謝祭の準備から通して、チームワークが強まったことを実感しています。これからの営業にしっかりつなげていきます。

(店長 室崎 裕行)



一麺亭京泊店 職場体験

3月9日10日の2日間、近隣の中学校から3名の男子生徒が参加されました。

- ①仕事の大変さを知っていただく。
- ②元気な挨拶を行う。
- ③ご両親に対する感謝。
- ④同じ働く仲間に対するいいところ探し。

この4点を目標に掲げ、2日間、声だしや洗い場、パッシングなどさまざまな仕事を体験していただきました。2日めは

- ①昨日より大きな声で挨拶をしよう!
- ②相手の目を見て笑顔を出そう!!

をポイントに取組んだことで、元気な声でお店を盛り上げてくれました。お客さまが会計の際、『今日は、職場体験ですか?物凄く元気ですね〜! 私の息子も同じくらいの年頃ですけど、こんなに元気一杯の挨拶を聞くと元気が出てきますね!!!』とお褒めの言葉をいただくことができました。彼らが仕事を楽しくできるように教えることができたと思うとともに、お客さまのその言葉に嬉しくなり、感動しました。

(京泊店 郷司 康雄)

